

国際機関で働く、その役割とは：女性の視点から

2022年6月3日(金)

時間：16:20~17:50

場所：津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス内大会議室

(対面参加者定員30名)、およびオンライン

司会 齋藤潤氏(津田塾大学総合政策研究所特任研究員 日本経済研究センター研究顧問)

講演 I	田村 由美子氏(アジア開発銀行駐日代表代行) 「アジア開発銀行(ADB)で働く」
講演 II	川口 尚子氏(OECD 東京センター所長(臨時)) 「経済協力開発機構(OECD)で働く」
講演 III	大野 泉氏(政策研究大学院大学教授、 前JICA緒方貞子平和開発研究所所長) 「世界銀行で働く：日本の国際協力の経験も交えて」
講演 IV	大森 功一氏(世界銀行東京事務所 上級対外関係担当官) 「世界銀行で働く」

プログラム

- 1 開会のご挨拶 新海 尚子氏(津田塾大学総合政策研究所所長)
- 2 ご挨拶および趣旨説明 齋藤潤氏
- 3 講演(I、II、III、IV各回15分ずつお話をいただきます)
- 4 質疑応答

シンポジウム終了後、18:30まで、ご都合が許す限り講師の先生方と希望参加者との自由な意見交換会、個別相談会を同会場にて開催する予定です。

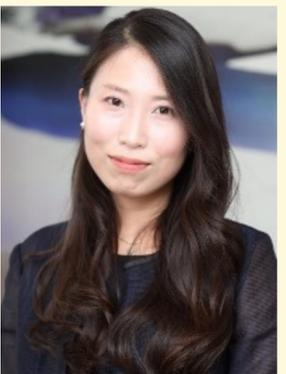
国家間の問題解決はもちろんのこと、先進国の持続的経済成長や発展途上国の経済開発のためにも、国際機関の役割は高まっていると思われます。世界各国が抱える課題に対して、国際機関として何が求められており、何ができるのか。各国際機関で活躍されてきたリーダーの方々からお話を頂き、それを踏まえて意見交換をさせて頂きたいと思っております。加えて、国際機関で働くとは具体的にどのようなことなのか、それらの機関ではどのような人材が求められており、将来これらの機関で働きたいと思っている学生にとっては、どのような道があるのかについてもお話を頂く予定です。全体を通して、女性として直面する課題や女性としての役割、可能性についてお触れ頂きたいと思っております。

講演者紹介



田村 由美子氏 アジア開発銀行 駐日代表代行

1998年、アジア開発銀行（ADB）入行。ADBの総裁補佐官、東南アジア局・東アジア局の局長室勤務を経て、2022年より現職。ベトナムに7年、ミャンマーに3年駐在し、特にメコン川流域諸国の専門家として国別支援戦略の策定と実施、地域協力・統合、ドナー間調整など、幅広い業務をリードしてきた。青山学院大学大学院国際経済学修士課程修了。



川口 尚子氏 OECD(経済協力開発機構) 東京センター所長(臨時)

OECDでは、これまでにG20をはじめとしたマルチ交渉の支援、ジェンダー平等・ダイバーシティの推進、社会政策、などを事務総長補佐官として幅広く担当。ジェンダーに関しては、OECD閣僚理事会における議論のジェンダー主流化をはじめ、関連する多くの共著論文も執筆。2021年7月よりOECD東京センター臨時所長として着任し、事務総長が掲げるOECDのアジア太平洋地域との関係強化を東京からリード。英ケンブリッジ大学院修士。



大野 泉氏 政策研究大学院大学教授、前JICA緒方貞子平和開発研究所所長

政策研究大学院大学（GRIPS）教授。専門は国際開発政策、国際協力、開発とビジネス。津田塾大学学芸学部国際関係学科を卒業。国際協力事業団（現在のJICA）、世界銀行、国際協力銀行（JBIC）等を経て、2002年より現職。2018年10月から2020年9月まで国際協力機構（JICA）緒方貞子平和開発研究所所長。プリンストン大学公共政策大学院修士（MPA）。



大森 功一氏 世界銀行東京事務所 上級対外関係担当官

2000年入行。東京事務所広報担当官、南アジア地域担当副総裁特別補佐官（2010-14年）を経て、2015年より現職。入行前は、大学の研究所でアジアの歴史的都市の保存・開発に関する研究プロジェクトに従事。アメリカン大学国際関係大学院（SIS）及び立命館大学大学院国際関係研究科で国際関係学修士号を取得。

申し込み方法

参加ご希望の方は、以下URLまたはQRコード(右)より、
5月31日火曜日13:00までにご登録をお願いします。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/ACPYNmTqbZrHvNeg6>
(ホームページからもお申し込みできます。)

津田塾大学 総合政策研究所

